



3人が思う東通村の魅力とは？

松浦:村に住んでいた頃は、海に全然行ったことがなかったけど、インターン期間中に北部海岸でサップやカヤックにも挑戦して、海が好きになりました！

佐藤:インターン中は、東通村トレーラーハウスに滞在しましたが、夜はすごく静かでした。東京みたいに、高い建物に雷は落ちないし、蒸し暑くないし、過ごしやすかったです！

小向:村の人は温かいな～と感じました。沢山、食べ物をいただきました！（笑）



将来の夢はありますか？

佐藤:将来は不動産や建設関係の仕事に就きたいです。古民家の改修といった今回のインターンは、将来にぴったりでした。

松浦:まだ、将来については悩み中で、何ができるか分かりませんが、いつか東通村に恩返しがしたいです。

小向:公務員を志望しています。インターンに参加して、東通村役場に就職するのもいいかな～と思うようになりました。



桑原さんにも質問！インターンの受け入れはどうでしたか？

桑原:今年「合同会社はれのち」という会社を立ち上げました。「はれのち」の改装作業の他にも、合同会社の事務作業等もあり、改装のお手伝いをしてくれたり、イベントの企画をしてもらい、心強かったです！

インターンシップを終えて インターンシップ成果報告会を開催



発表するインターン生たち



報告会へ参加した皆さん

9月20日、入口地区「入口かしわの館」において、インターン生3人が活動の成果を畑中村長や入口地区の住民の皆さん等、インターンシップ関係者に報告しました。

この日は、インターン生の松浦さんが学業のため、オンラインでの参加となりましたが、インターン生3人で力を合わせて成果発表をしました。成果報告会では、地域の方々や関係者から活動内容や今後の活動について関心を集め、多くの質問や意見が交わされました。

インターン生らは、約1ヵ月間のインターンシップを通じて、イベントの企画・実施についてのスキルや運営する難しさなどを学び、周りとの協力して困難を乗り越える力を習得できたと自分たちの活動を振り返りました。

なお、インターン生の活動拠点となった「古民家ゲストハウス はれのち」は、11月中にオープン予定とのことで、今後の本格的な稼働に向けて、協力隊の桑原さんを中心に準備が進められています。

このインターンシップで得た経験や学びを今後の活動に活かし、更なる活躍を期待しています！